

※園児がよくかかる下記の感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いいたします。なお、集団生活に適応できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮下さい。

※登園の際には、下記の登園届の提出をお願いいたします。

登園の目安は、子どもの全身状態が良好であることが基準となります。

<保護者記入用>

登園届(保護者記入)	
<p>オリーブクラウン保育園 園長宛</p> <p style="text-align: right;">園児氏名 _____</p> <p style="text-align: right;">生年月日 _____</p> <p>病名 _____ と</p> <p style="text-align: center;">医療機関 _____ において診断され、</p> <p style="text-align: center;">登園のめやすを参考に、症状が回復すれば、登園可能と診断されています。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日 症状が回復し、</p> <p style="text-align: center;">集団生活に支障がない状態となりましたので登園いたします。</p> <p style="text-align: center;">保護者氏名 _____ ㊟(またはサイン)</p>	

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌内服後 24～48 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の1週間	全状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているため注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
R Sウイルス	呼吸器症状のある間	呼吸器状態が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化してから
突発性湿疹		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

※登園が不安な場合は、事前にご連絡下さい。 オリーブクラウン保育園 943-5501

※保育園は乳幼児が集団で生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、子どもたちが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。
 ※感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での生活が可能な状態となってから登園するようご配慮ください。

<医師用>

意 見 書		
オリーブクラン保育園 園長宛		
		園児氏名 _____
		生年月日 _____
病名 _____		
年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障が出ない状態になったので 登園可能と判断します。		
年 月 日		
医療機関 _____		
医師名 _____		④ (またはサイン)

○医師が記入した意見書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
風しん（3 日はしか）	発しん出現の前 7 日～後 7 日間くらい	発しんがすべて消失してから
水 痘（みずぼうそう）	発しん出現 1～2 日前から痂皮形型まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日間	耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹が発現してから 5 日 を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		感染の恐れがなくなってから
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱・充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日間を経過してから
流行性角結膜炎	充血・目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失し てから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過 するまで	特有の咳が消失するまで、または 5 日間の適正な 抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 （O157・O26・O111 等）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、 48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いず れも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1～2 週間、便から数週間 ～数か月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

小児の主な伝染病

病名	潜伏期間	感染経路	主な症状	登園停止期間の目安
百日咳	1～2週間前後	接触 飛沫	風邪のような症状から、やがて激しい咳の発作になる。(夜間特にひどくなる) 発作により窒息状態や無呼吸意識障害を起こすこともある。(嘔吐・チアノーゼ)	特有の咳が消えるまで
麻疹 (はしか)	2週間前後	接触 飛沫	風邪に似た症状が2から3日続き、コプリック白斑(頬粘膜に白斑)が現れる。 熱はいったん下がるが再び上昇して、発疹が全体に出る。	解熱した後、3日を経過するまで
インフルエンザ	1～2日	接触 飛沫	発熱・頭痛・嘔吐・下痢・関節痛	解熱した後、2日を経過するまで
流行性耳下腺炎	2～3週間前後	接触 飛沫	耳下腺の両方あるいは片側に炎症を起こして腫れる。高熱を出すときもあり物を飲み込むとき痛みがある。	耳下腺の腫れが消えるまで
風疹	2～3週間前後	接触 飛沫	軽熱と共に、小さな発疹が出てリンパ腺も腫れる。症状は軽く、2～3日で熱は下がり発疹も消える。3日はしかともいう。	発疹が消えるまで
水痘 (みずぼうそう)	2～3週間前後	接触 飛沫	軽熱と共に、小さな発疹が次々とでき、間もなく水疱状になる。4～5日後黒いかさぶたになって乾く。	すべての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜炎 (プール熱)	5～7日	接触 飛沫	発熱(37℃から40℃)、咽頭痛、結膜炎を特徴とする。倦怠感・咽頭痛などの感冒症状及び目やに・嘔吐・下痢を訴える。	主症状が消えるまで
流行性角結膜炎	3～5日	接触	結膜の充血・目やに・涙・疼痛を伴う。	主症状が消えるまで

園を休んだほうが良いが、出席(登園)停止にならないもの

手足口病	3～5日	接触 飛沫	軽い発熱があり、口や手足に水泡がでるのだが、1週間くらいで消失する。 口内痛のため食物が食べられないことがある。	主症状が消えるまで
とびひ	2～5日	接触	赤い発疹から水疱ができ、黄色く変色していく。潰れた後かさぶたになる。感染力が強い。(特に水疱がつぶれた時)	水ぶくれ・ただれが消えるまで

※保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぎ、子どもたちが一日快適に生活できるよう環境を整えることが大切です。

※かかりつけの医師の診断に基づき、「インフルエンザ登園許可願い」の記載をお願いいたします。

なお、保育園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮下さい。

※登園の際には、下記の「インフルエンザ登園許可願い」の提出をお願いします。

(登園の目安は、子どもの全身状態が良好であることが基準となります。)

<保護者記入用>

インフルエンザ登園許可願い（保護者記入）			
オリーブクラン保育園 園長 宛			
		園児氏名 _____	
		生年月日 _____	
年	月	日	医療機関名 _____ において
病名 <u>インフルエンザ</u> と診断されました。			
年	月	日	現在、下記のとおり、発症後5日を経過し、解熱後3日を経過しましたので、登園の許可をお願いいたします。
			保護者氏名 _____ (印)

体温測定月日	朝の体温	夕の体温	解熱薬使用の有無
月 日	時 分： 度	時 分： 度	無 ・ 有
月 日	時 分： 度	時 分： 度	無 ・ 有
月 日	時 分： 度	時 分： 度	無 ・ 有
月 日	時 分： 度	時 分： 度	無 ・ 有
月 日	時 分： 度	時 分： 度	無 ・ 有
月 日	時 分： 度	時 分： 度	無 ・ 有
月 日	時 分： 度	時 分： 度	無 ・ 有

※症状が出た日から体温を測定し、記載してください。(1日につき1行ずつ記載)

※発熱期間が長く、解熱後3日が記録できない場合には、裏面、あるいは、別の記録用紙を添付するなどしてください。

※解熱後3日とは解熱剤を使用しないで発熱しなくなり3日を経過したことをいいます。

※登園に関しご不明な点やご相談がある場合は事前にご連絡下さい。